

2026（令和8）年1月吉日

各位

第21回さがの映像祭実行委員会
実行委員長 高山 正紀
(公印省略)

2025年度 第21回さがの映像祭開催に関するご案内（情報提供）

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2025年に手話施策推進法が成立し、「手話の日」（9月23日）をはじめとする啓発活動および、手話やろう文化への理解促進が社会的に進められる中、「さがの映像祭」は、本年度、第21回目の開催を迎える運びとなりました。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、取材ならびに周知についてご検討いただけましたら幸いです。

記

1 日時・内容 2026（令和8）年2月10日（火）①15：30 ②16：30

応募作品上映会〔観客投票あり〕

2026（令和8）年2月11日（水・祝）10：00～16：00

特別映画上映、作品コンクール発表

2 会場 ヒューリックホール京都

（京都府京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町310-2

立誠ガーデン ヒューリック京都 1F）

3 参加費 前売券：1,200円 当日券：1,500円

※販売場所：京都府聴覚障害者協会、全国手話通訳問題研究会京都支部、京都府手話サークル連絡会、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会、全国手話研修センター、当日会場

※ネットストアにて電子チケットによる販売もしております。

<https://com-sagano.stores.jp/items/694a4e702200bb20d454cee9>

4 添付資料

- ・プレスリリース（第21回さがの映像祭概要）
- ・第21回さがの映像祭開催要項
- ・第21回さがの映像祭案内チラシ

【連絡先】第21回さがの映像祭実行委員会 事務局
(社会福祉法人全国手話研修センター 啓発・普及部門)
FAX 075-873-2647 TEL:075-873-2646
Email Sagano.eizo@com-sagano.com

プレスリリース
報道関係各位

2026年1月吉日
第21回さがの映像祭 実行委員会

第21回 さがの映像祭
2026年2月10日（火）・11日（水・祝） 京都にて開催
— ろう者・難聴者による映像表現が集う映像祭 —

さがの映像祭実行委員会（京都市）は、ろう者・難聴者が制作した映像作品を上映・発表する映画祭「第21回さがの映像祭」を、2026年2月10日（火）・11日（水・祝）の2日間、ヒューリックホール京都にて開催いたします。

本映画祭は、全国から寄せられた映像作品の上映に加え、観客による投票、特別映画上映、映像作品コンクールの結果発表などを行う、国内でも数少ない「ろう者・難聴者の映像表現」に焦点を当てた映画祭です。

■さがの映像祭について

さがの映像祭は、ろう者・難聴者が主体となって制作した映像作品の発表の場として、長年にわたり開催されてきました。ドキュメンタリー、ドラマなどジャンルは多岐にわたり、映像を通じて多様な表現や視点に触れることができる映画祭です。

■開催概要

【名称】第21回 さがの映像祭

【日程】

2026年2月10日（火）

応募作品上映会（観客投票あり）

①15:30～／②16:30～（※①②は同一内容）

※この日の上映会は入場無料

2026年2月11日（水・祝）10:00～16:00

特別映画上映、映像制作ワークショップ報告会、

ろう映画史の先駆者 深川勝三監督 資料寄贈記念企画、

映像作品コンクール発表

【会場】

ヒューリックホール京都

（京都府京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町310-2 立誠ガーデン ヒューリック京都 1F）

【参加費】

前売券：1,200 円

当日券：1,500 円

※2月 10 日の応募作品上映会は入場無料

■特別映画上映作品

『私たちの話し方』

(2024年／香港／広東語・香港手話／132分／カラー)

※バリアフリー日本語字幕付き

本作は、ろう者3人の生き方や価値観の違いを通して、「話すこと」「伝えること」を問い合わせ直すドキュメンタリー作品です。国際的に高い評価を受けており、日本国内での一般上映に先立つ公開となります。(※日本での一般上映は3月27日からの予定)

■映像作品コンクール

応募作品上映会では、来場者による観客投票を実施します。

選ばれた作品は2月11日に行われる映像作品コンクール発表・授賞式にて発表されます。

■公式情報

公式 WEB サイト

<https://sdmf-kyoto.com-sagano.com/>

チケット販売ページ

<https://com-sagano.stores.jp/>

■その他

なお、深川勝三監督の資料寄贈に関する寄贈式（式典）の実施については、別紙をご参照ください。

【取材・お問い合わせ先】

さがの映像祭実行委員会 事務局

(社会福祉法人全国手話研修センター)

FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646

sagano.eizo@com-sagano.com

別 紙

深川勝三監督 資料寄贈に伴う寄贈式の実施について

ろう映画史の先駆者である深川勝三監督が、生前使用していたカメラやフィルム、映画作品、書籍などの資料一式が、このたび全国手話研修センター（手話総合資料室）に寄贈されました。

本寄贈は、ろう者による映像文化の黎明期を伝える貴重な資料群であり、日本のろう映画史・手話文化史を後世に継承していく上で極めて重要な意義を持つものです。

この寄贈を記念し、下記のとおり寄贈式を実施する予定です。なお、寄贈資料は今後、手話総合資料室において適切に保存・整理を行い、公開・活用方法について検討を進めてまいります。

記

【寄贈式（予定）】

日 時：

2026年2月10日（火）午前11時00分～11時30分

会 場：

全国手話研修センター（2階花園 手話総合資料室）

出席者：

- ・寄贈者 高 正次（睦ろう映画保存会 代表）
- ・全国手話研修センター 理事長 石野 富志三郎
- ・全国手話研修センター 常務理事 小出 新一 ほか

次 第：

1. 開会
2. 寄贈者挨拶
3. 贈呈
4. 受贈者挨拶（全国手話研修センター 理事長）
5. 記念撮影
6. 閉会

※本寄贈式は、第21回さがの映像祭の開催期間（2月10日～11日）にあわせて実施予定です。

※寄贈資料の紹介方法（映像祭会場での展示・紹介、記者発表等）については、現在検討中です。

第21回さがの映像祭 開催要項

- 1 名 称 2025（令和7）年度第21回さがの映像祭
- 2 目 的 ろう者・難聴者が制作した映像を広く公募・紹介し、放送と映像制作活動の推進および人材育成を図る。多様な表現が社会に届くことで、ともに生きる社会の実現をめざす。
- 3 主 催 第21回さがの映像祭実行委員会
- 4 後 援 一般財団法人全日本ろうあ連盟、京都市（予定）
- 5 助 成 京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業
- 6 事務局 社会福祉法人全国手話研修センター、認定NPO法人障害者放送通信機構

7 日 程

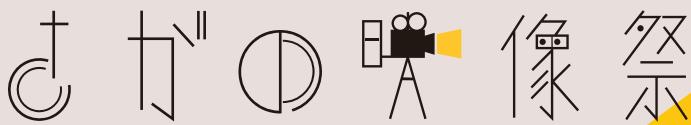
7月～	ワークショップのお知らせ開始 映像作品コンクール作品募集開始
9月20日（土）・21日（日）	ワークショップ（愛知大学 豊橋キャンパス）
11月16日（日）	応募締め切り
1月15日（木）	審査会
1月～3月	応募作品の期間限定配信（一部）
2月～3月	応募作品 IPTV「目で聴くテレビ」配信
2月10（火）・11日（水・祝）	第21回さがの映像祭 ・応募作品の上映、特別企画、大賞発表 ・研修センターHP、公式サイト・SNSで結果公表

- 8 内 容 第21回映像作品コンクールの実施
応募作品上映および大賞発表、特別企画（対面開催）

9 実行委員会の構成

- (1) 実行委員
- ・大館信広（映画監督、デフムービーエンターテインメントプロディア代表）
 - ・金山智子（情報科学芸術大学院大学教授）
 - ・小出新一（社会福祉法人全国手話研修センター常務理事）
 - ・高山正紀（委員長：一般社団法人京都府聴覚障害者協会）
 - ・知花可奈子（京都手話通訳問題研究会）
 - ・徳永泰子（京都府手話サークル連絡会）
 - ・鈴木翔悟（京都府手話サークル連絡会）
 - ・社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会
- (2) 事務局
- ・社会福祉法人全国手話研修センター 手話事業課（啓発・普及部門）
 - ・認定NPO法人障害者放送通信機構

第21回



SAGANO DEAF MOVIE FESTIVAL in KYOTO

目でとらえる世界の、その先へ。



2026.

2.10 火

応募作品上映会 [観客投票あり]

①15:30~ ②16:30~

10日のみ入場無料

2.11 水・祝

特別映画上映、作品コンクール発表

10:00~16:00

会場：ヒューリックホール京都

定員200名／全席自由席
車いすスペースあり

〈前売券〉1,200円
〈当日券〉1,500円

[主催]第21回さがの映像祭実行委員会

[事務局]社会福祉法人全国手話研修センター、認定NPO法人障害者放送通信機構

[後援]一般財団法人全日本ろうあ連盟、京都市(予定)



© 2024 One Cool Film Production Limited, Lee Hysan Foundation.
All Rights Reserved.

特別上映 『私たちの話し方』

2024年／香港／広東語・香港手話／132分／カラー

バリアフリー日本語字幕

2/10 火

入場無料

チケット前売券(2/11)も販売予定。

第21回さがの映像祭 映像作品コンクール 応募作品上映会

あなたが審査員。
作品に一票を。

応募作品上映会では、応募いただいた全作品を上映します。来場者による投票も行い、観客賞は11日に発表します。入場無料で、どなたでも参加いただけます。

[上映時間] ①15:30~ ②16:30~ ※①②は同じ内容です

2/11 水・祝

チケット販売中

〈前売券〉 1,200円

〈当日券〉 1,500円



チケット購入は
こちらから



『私たちの話し方』

監督:アダム・ウォン(黄修平)

出演:ネオ・ヤウ(游學修)、ジョン・シュツイン(鍾雪瑩)、マルコ・ン(吳祉昊)

2024年/香港/広東語・香港手話/132分/カラー

原題:看我今天怎麼說 英題:The Way We Talk

字幕:最上麻衣子 字幕監修:Palabra株式会社 配給:ミモザフィルムズ

© 2024 One Cool Film Production Limited. Lee Hysan Foundation. All Rights Reserved.

パリアフリー日本語字幕

異なる環境で育った20代のろう者3人。人工内耳で“普通”を求めるソフィー、手話で誇りをもつジーソン、手話と口話を使うアラン。手話を禁じるろう学校で育ったジーソンとアランは親友となり、アランは人工内耳のアンバサダーとしてソフィーと出会う。人工内耳の推進イベントで「科学が発展すれば、この世からろう者はいなくなる」とソフィーが語ったことに、ジーソンが激怒して——。

映像制作ワークショップ報告会

2025年9月に愛知大学で開催した映像制作ワークショップの成果報告として、
参加者が制作した作品を上映します。



今村 彩子
[映像作家]



上田 謙太郎
[映像作家]

第21回映像作品コンクール 審査結果発表・授賞式

本コンクールには、ろう者・難聴者が制作した映像作品が全国から
寄せられ、ドキュメンタリーやドラマなどジャンルも多岐にわたります。
多彩な表現の中から選ばれた受賞作品の発表と授賞を行い、講評と
ともに今年度の成果を振り返ります。

深川勝三監督 資料寄贈記念企画



100th ANNIVERSARY
FUKAGAWA KATSUZO
1924-2024

日本で最初のろう映画監督である深川勝三氏
が使用していたカメラやフィルム、映画作品、書籍
などが、この度、全国手話研修センター(手話総合資料室)に寄贈されることになりました。今回の
寄贈を記念し、特別企画を実施いたします。詳
しい内容は、後日あらためてお知らせいたします。

会場

日本映画発祥の地!

ヒューリックホール京都

〒604-8023

京都府京都市中京区

蛸薬師通河原町東入備前島町310-2

立誠ガーデン ヒューリック京都1F

*お越しの際は、電車・バス等の公共交通機
関をご利用ください

■電車

阪急京都線 京都河原町駅(木屋町北出入口)

→徒歩3分

京阪本線 祇園四条駅(4番出口)→徒歩5分



会場
(Google MAP)



WEBサイト
sdmf-kyoto.com-sagano.com



Instagram
sagano_deafmovie



Facebook
さがの映像祭

[お問い合わせ先]

さがの映像祭実行委員会 事務局

(社会福祉法人 全国手話研修センター)

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646

さがの映像祭



京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業

グッズ



さがの映像祭
応援アクリルカラビナ

[1個/税込] ¥600

